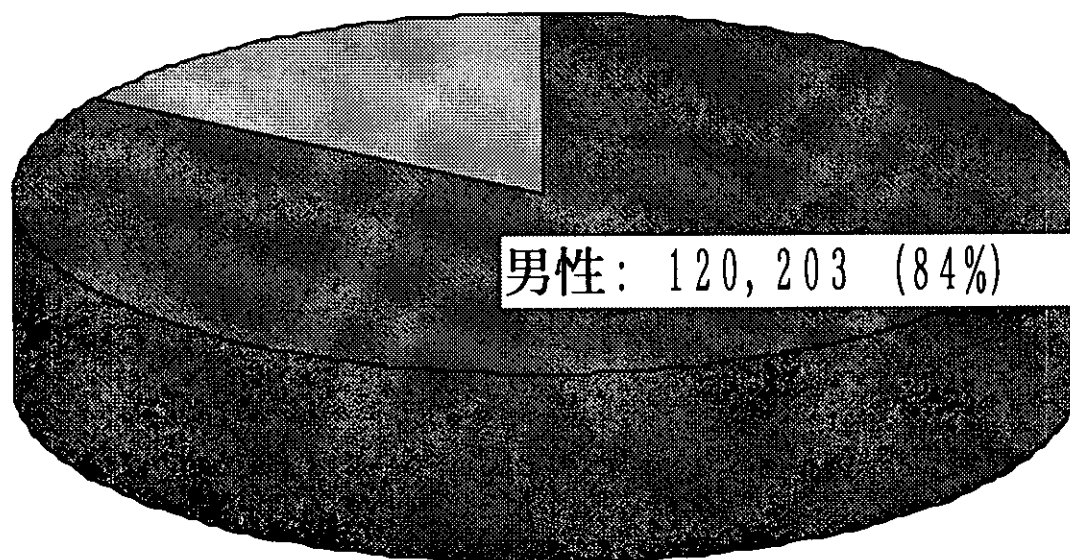
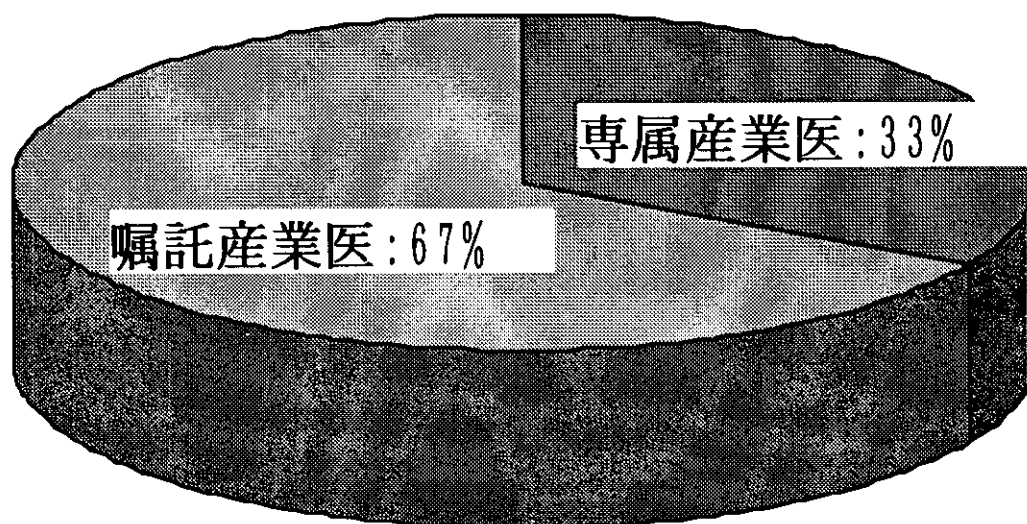


女性：22,500 (16%)



男性：120,203 (84%)

図1. アンケートにおける一般健康診断受診者総数  
(n=142,703)



専属産業医：33%

嘱託産業医：67%

図2. アンケートにおける専属産業医・嘱託産業医  
の割合 (n=100)

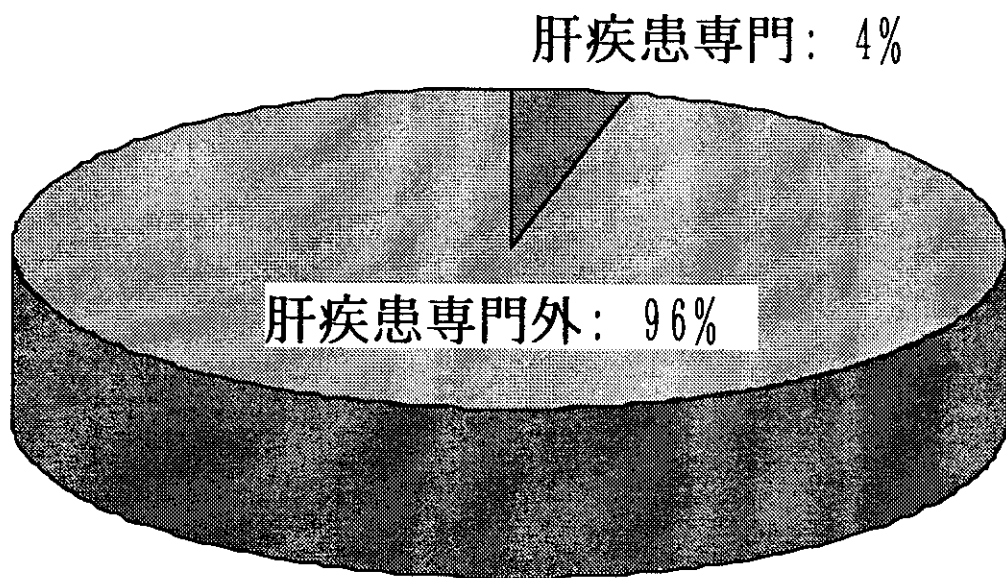


図3. 肝疾患を専門とする産業医 (n=100)

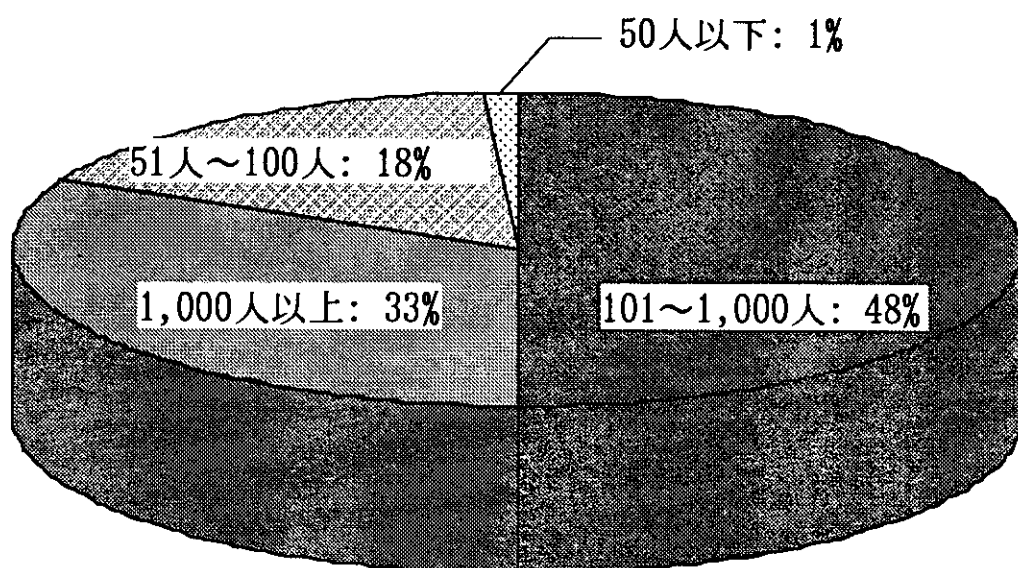
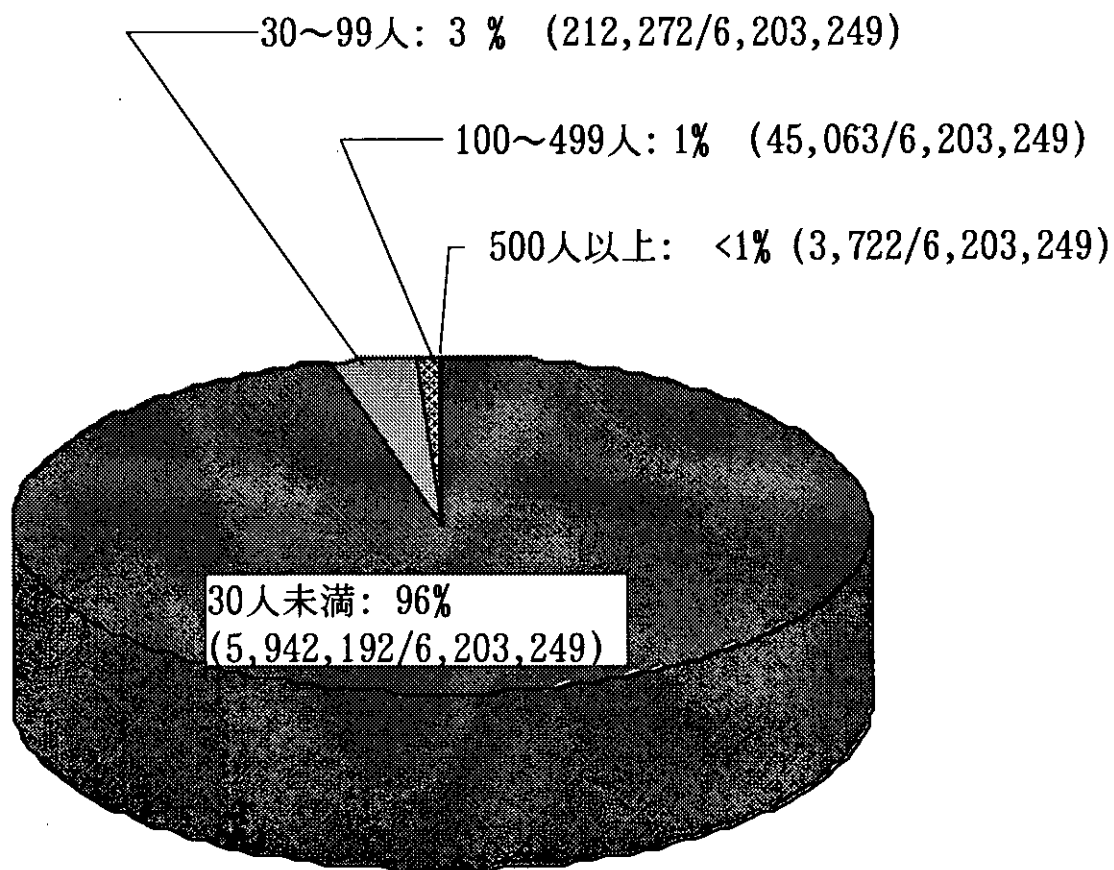


図4A. 従業員数別の事業所数 (n=100)



(厚生労働省統計表データベースシステム:  
[http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/youran/indexyr\\_c\\_1.html](http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/youran/indexyr_c_1.html) より)

図4B. 日本における従業員数別の事業所数  
 (H11年7月)

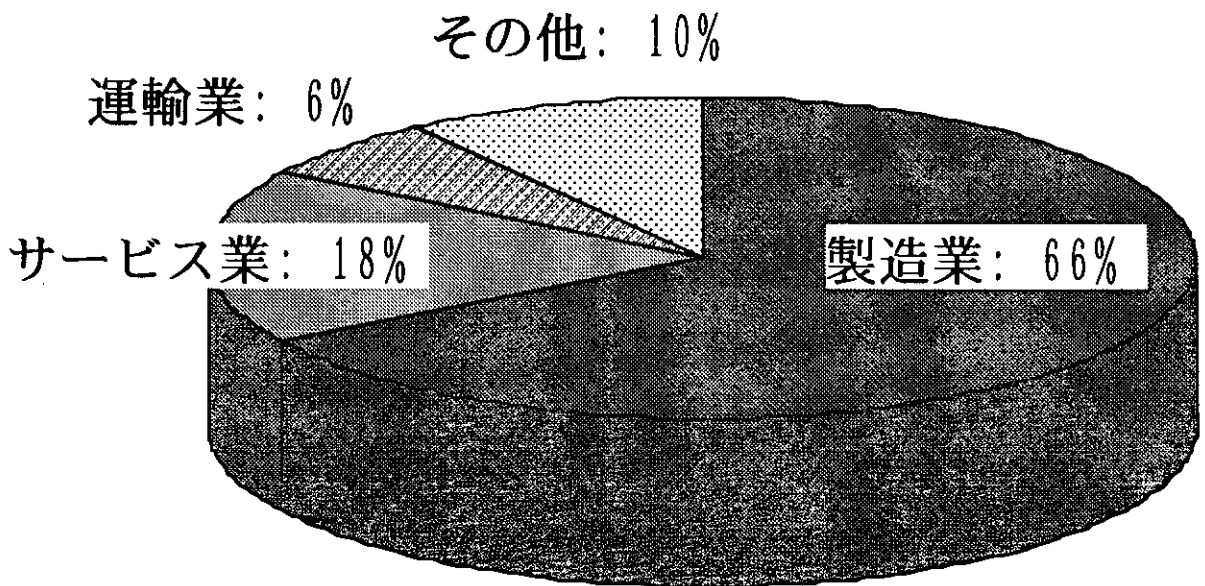


図5. アンケート回答事業所の業種別頻度 (n=100)

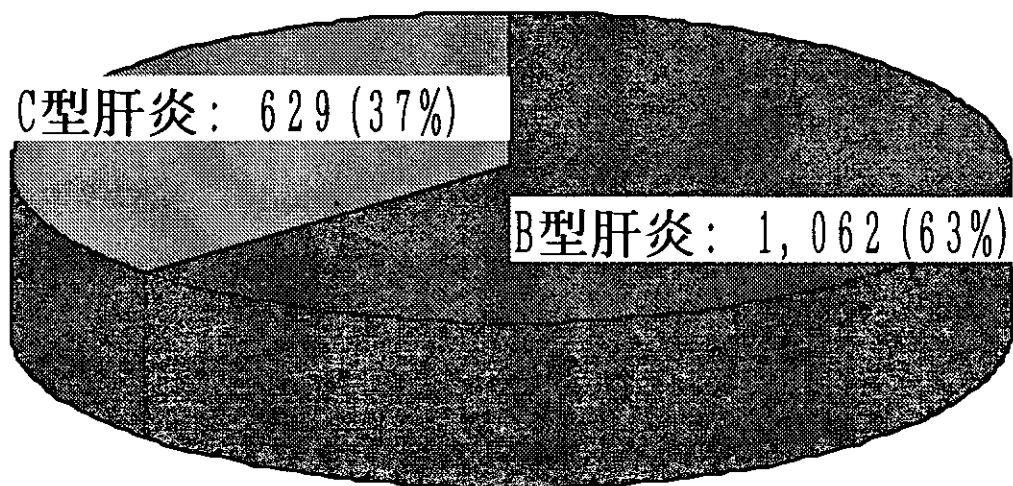


図6. 産業医に把握されている肝炎労働者（B型・C型肝炎およびキャリアである労働者）の数 (n=1,691)

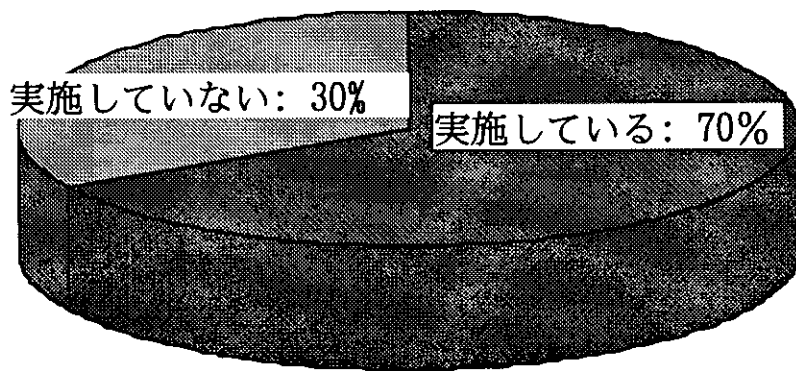


図7. 肝炎労働者に対する健康相談や健康指導の実施 (n=96)

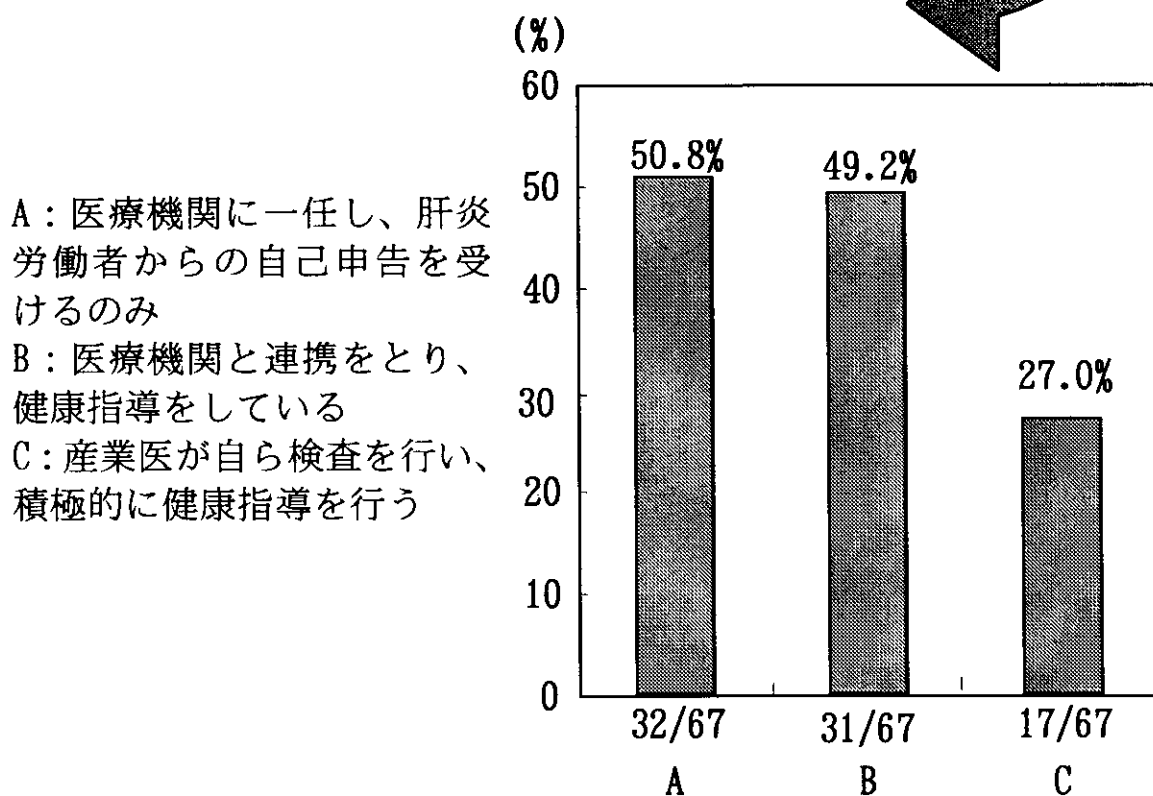
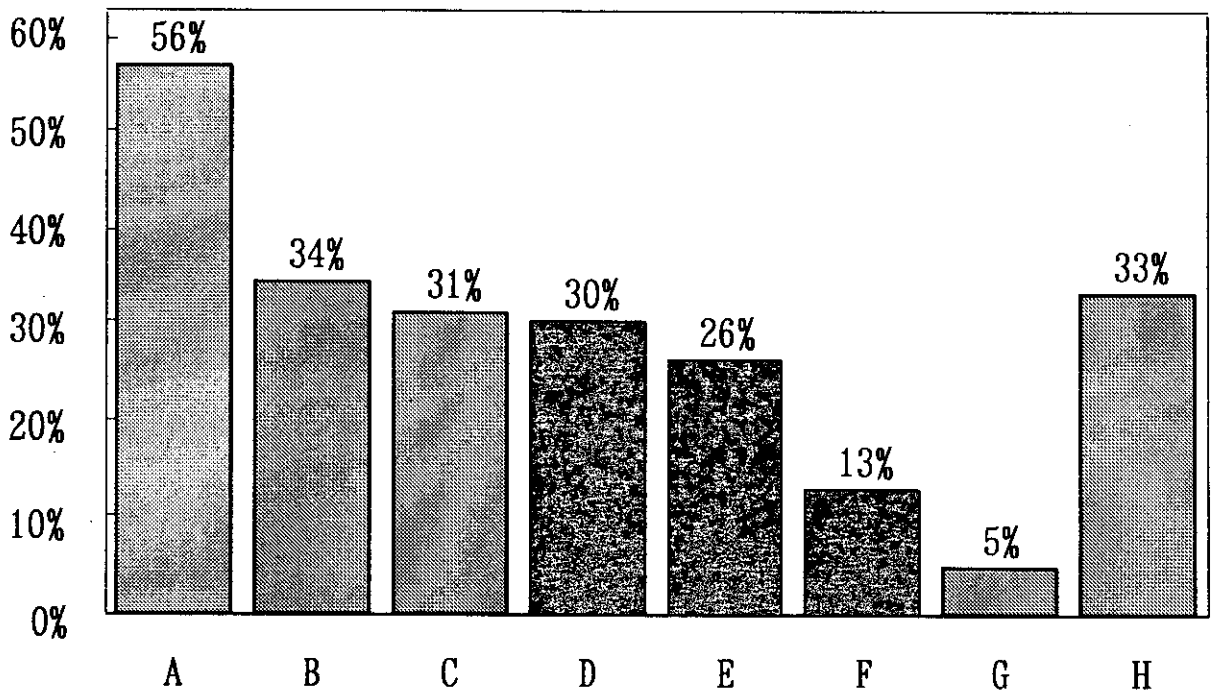


図8. 肝炎労働者に対する健康相談や健康指導の実施方法 (n=67)



- A：薬物等の治療を含む肝炎全般に関する相談・質問
- B：医療機関受診の便宜についての相談・質問
- C：食事、休養などの私生活に関する相談・質問
- D：仕事量・作業内容についての相談・質問
- E：労働負荷と肝疾患増悪との関係についての質問
- F：職場内感染に関する相談・質問
- G：その他
  - 家庭内感染に関して-3例
  - 予後、転帰に関して-1例
  - 質問に対し非常勤専門医が対応-1例
- H：質問を受けたことがない

図9. 産業医に対する肝炎労働者からの相談・質問  
(n=100)

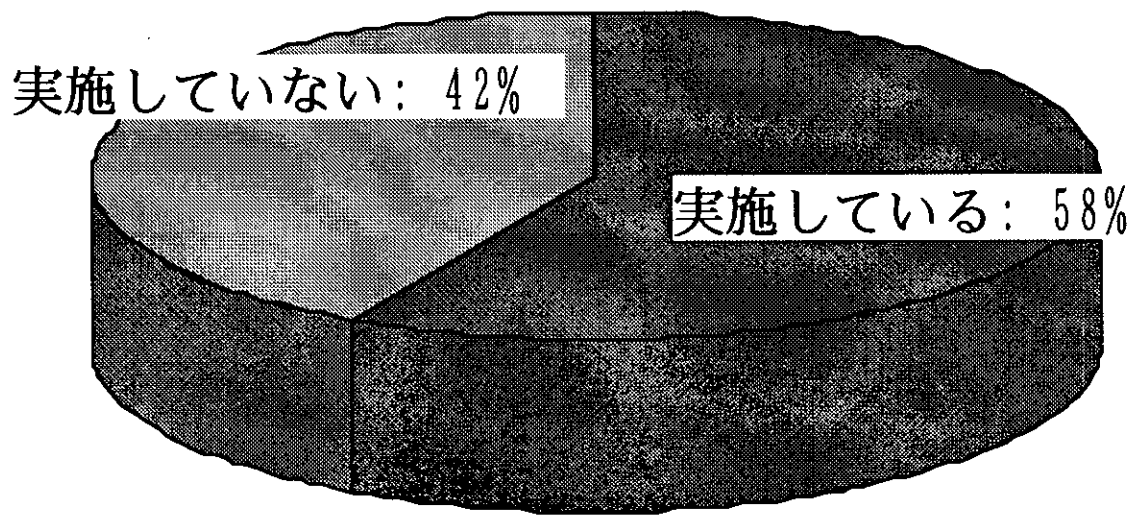


図10. 事業所における肝炎ウイルス検査の実施  
(n=100)

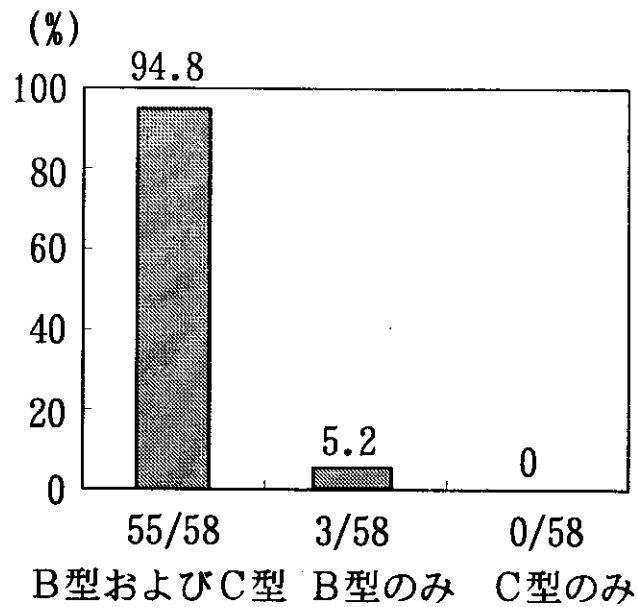


図 11. 事業所における肝炎ウイルス検査  
(n=58)

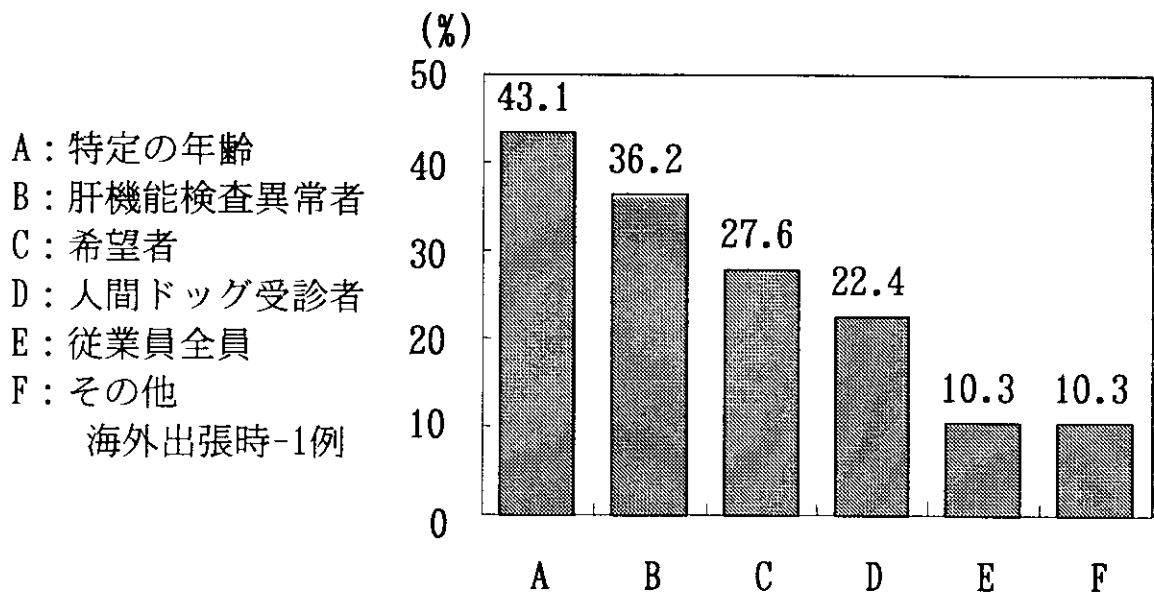
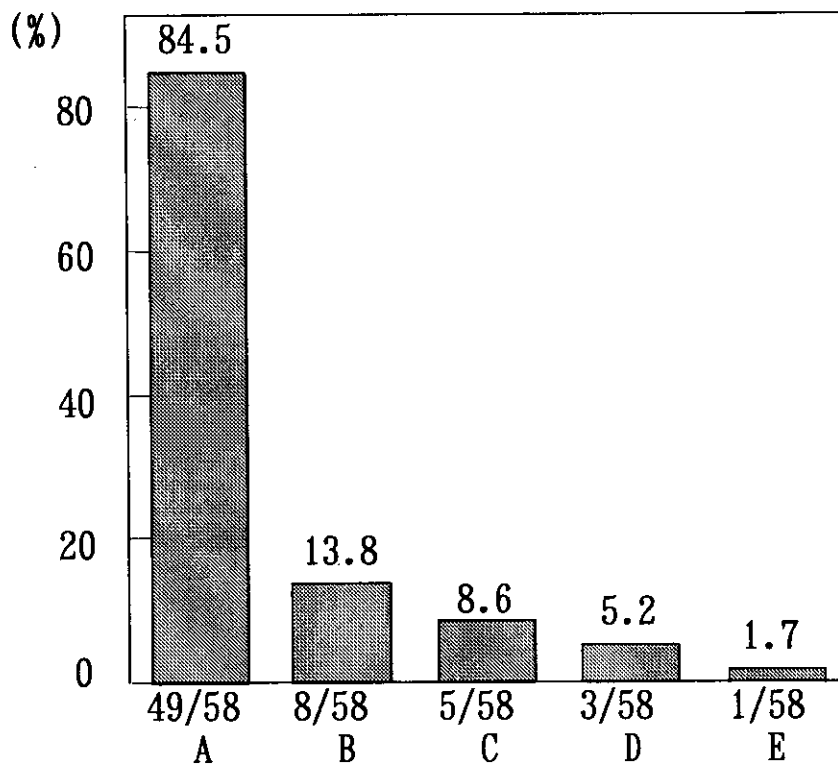


図 12. 肝炎ウイルス検査を施行する対象  
(n=58)





- A : 事業所(会社) または健康保険組合が全額負担
- B : 自己負担(医療保険の補助を含む自己負担)
- C : 事業所(会社) または健康保険組合が一部補助
- D : 生活習慣病予防検診における政府管掌健康保険からの補助
- E : 老人保健法に基づく国と地方自治体からの補助

図13. 肝炎ウイルスの検査費用の負担 (n=58)

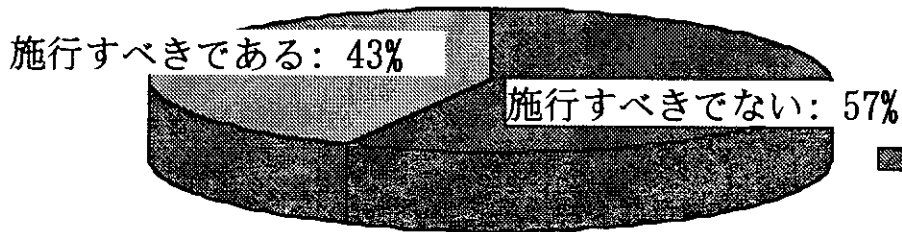
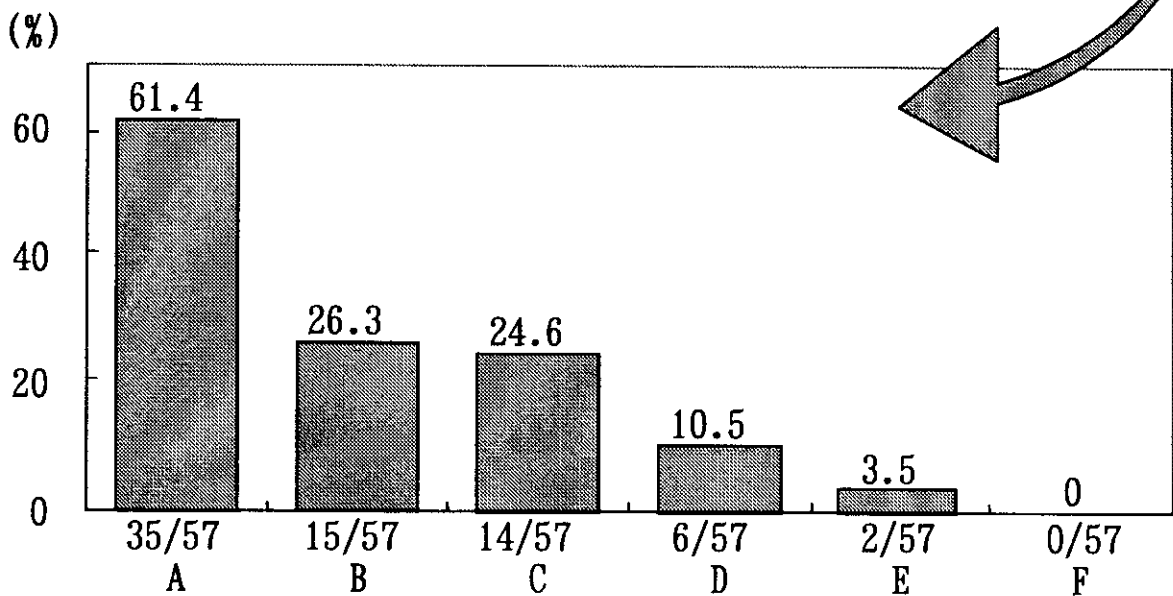


図14. 「事業所で一次検査として肝炎ウイルス検査を施行すべきかどうか」の産業医に対する質問 (n=100)



- A: キャリアが不当な差別を被る危険性がある
- B: 業務とウイルス性肝炎増悪との関係が明らかでない
- C: 検査費用の補助がない
- D: 感染者を発見しても確実な治療法がない
- E: その他
  - 本人の判断によるべき-1例
  - 肝炎・肝癌の発生を抑制できるという根拠がない-1例
- F: 分からない

図15. 事業所で一次検査として肝炎ウイルス検査を施行すべきでない理由 (n=57)

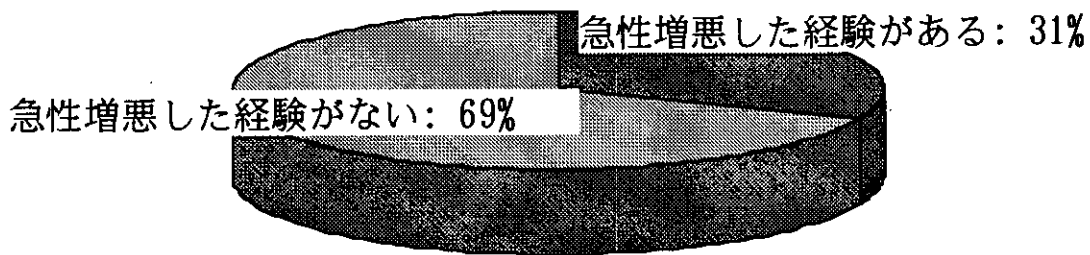


図 16. 肝炎労働者の肝機能が急性増悪した経験の有無 (n=100)

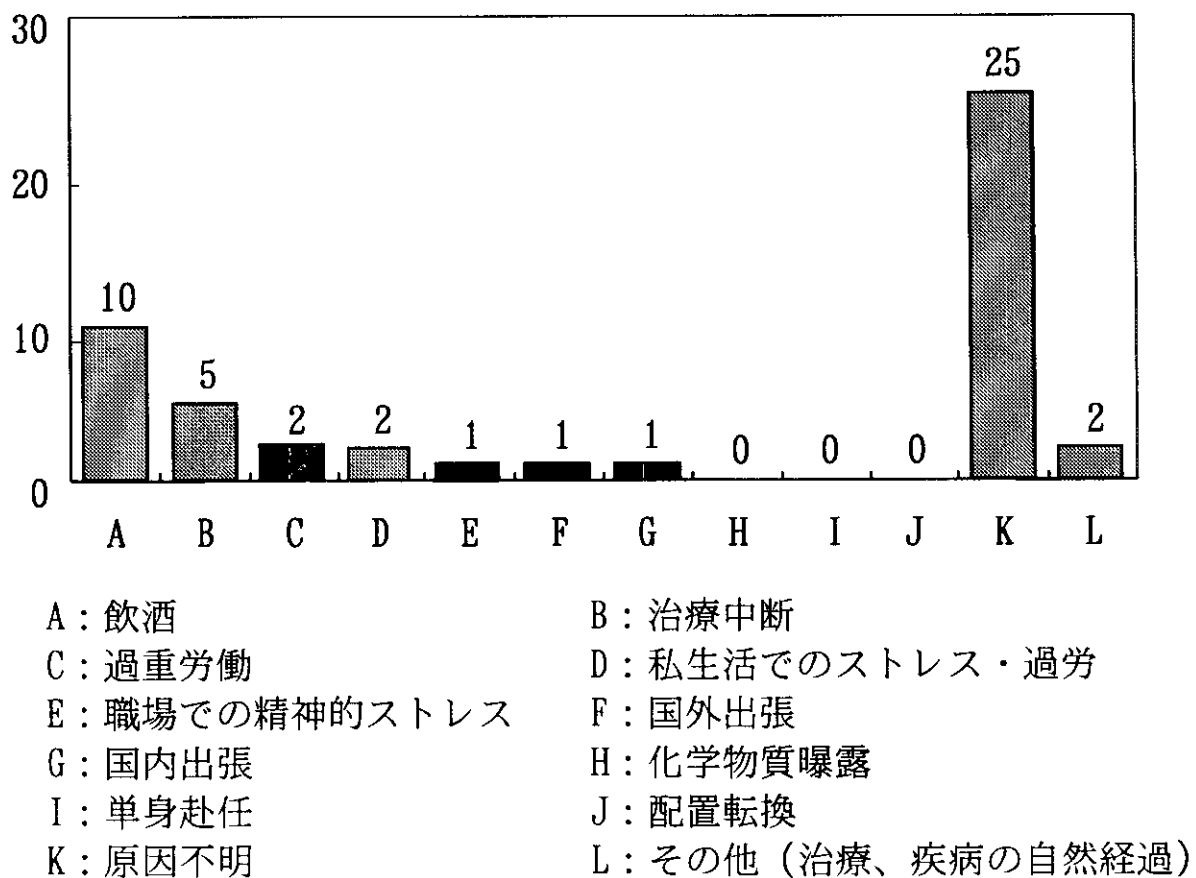
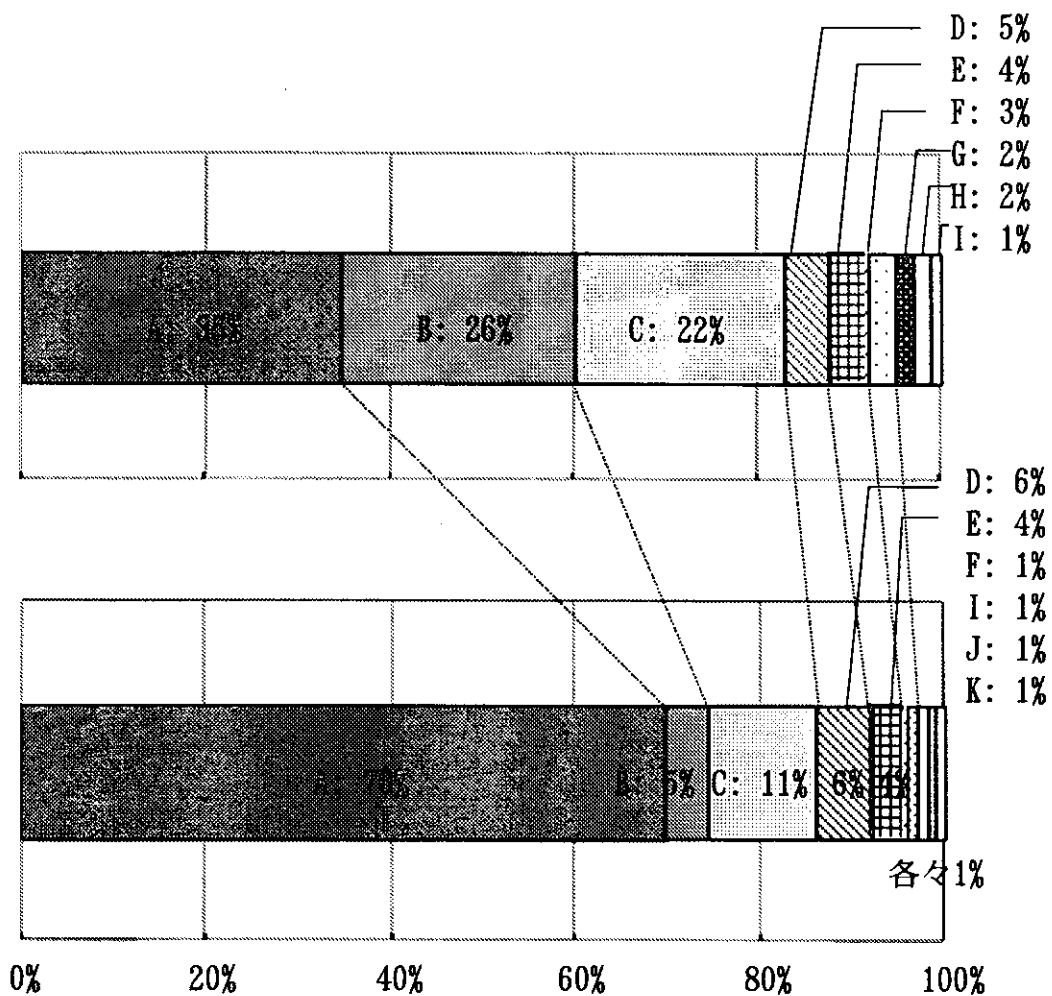


図17. 肝炎労働者の肝機能が急性増悪した理由 (n=31)

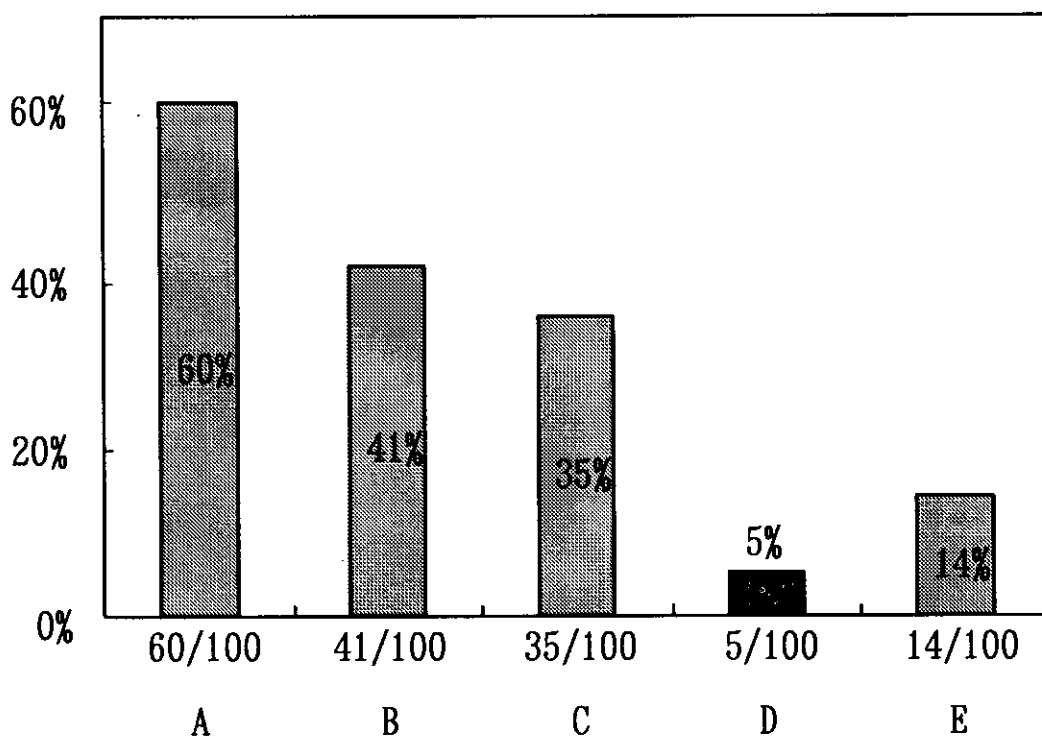


- A: 産業医
- B: 衛生管理者
- C: 産業看護師(保健師)
- D: 産業医と産業看護師
- E: 安全衛生担当者
- F: 人事・労務担当者
- G: 産業医と関連病院
- H: 本人または特になし
- I: 産業医と衛生管理者
- J: 関連病院
- K: 産業医と衛生管理者と産業看護師

図18. 肝炎労働者の情報管理責任者 (n=100)

上段：実際の管理責任者

下段：望ましい管理責任者



- A：肝炎労働者の就業制限に関する基準を示してほしい
- B：肝炎労働者に対する職場での倫理上の配慮に関する指針を出してほしい
- C：肝炎労働者の職場における健康管理の指針を出してほしい
- D：B型・C型肝炎対策を職場に持ち込まないでほしい
- E：その他
  - 何も望まない-5例
  - 肝炎労働者の問題だけ特別扱いしないでほしい-3例
  - 正確な実態調査をしてほしい-3例
  - 肝炎労働者に対して厚生労働省から経済的援助をしてほしい-2例
  - 肝炎労働者個人に対する教育を普及させてほしい-1例

図19. 産業医として厚生労働省に対する肝炎労働者対策の要望 (n=100)

上司との相談で回答：15%

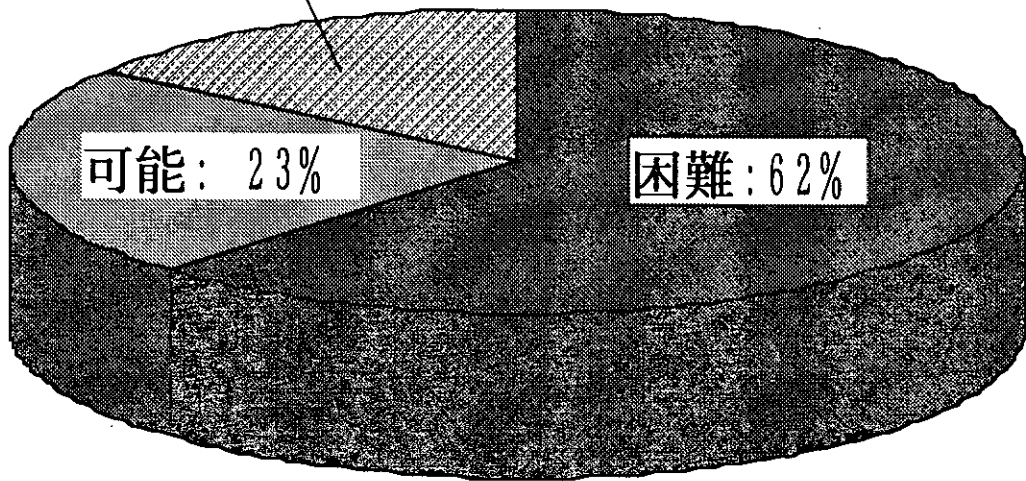


図20. 各事業所における肝炎労働者に対する継続的な調査 (n=100)

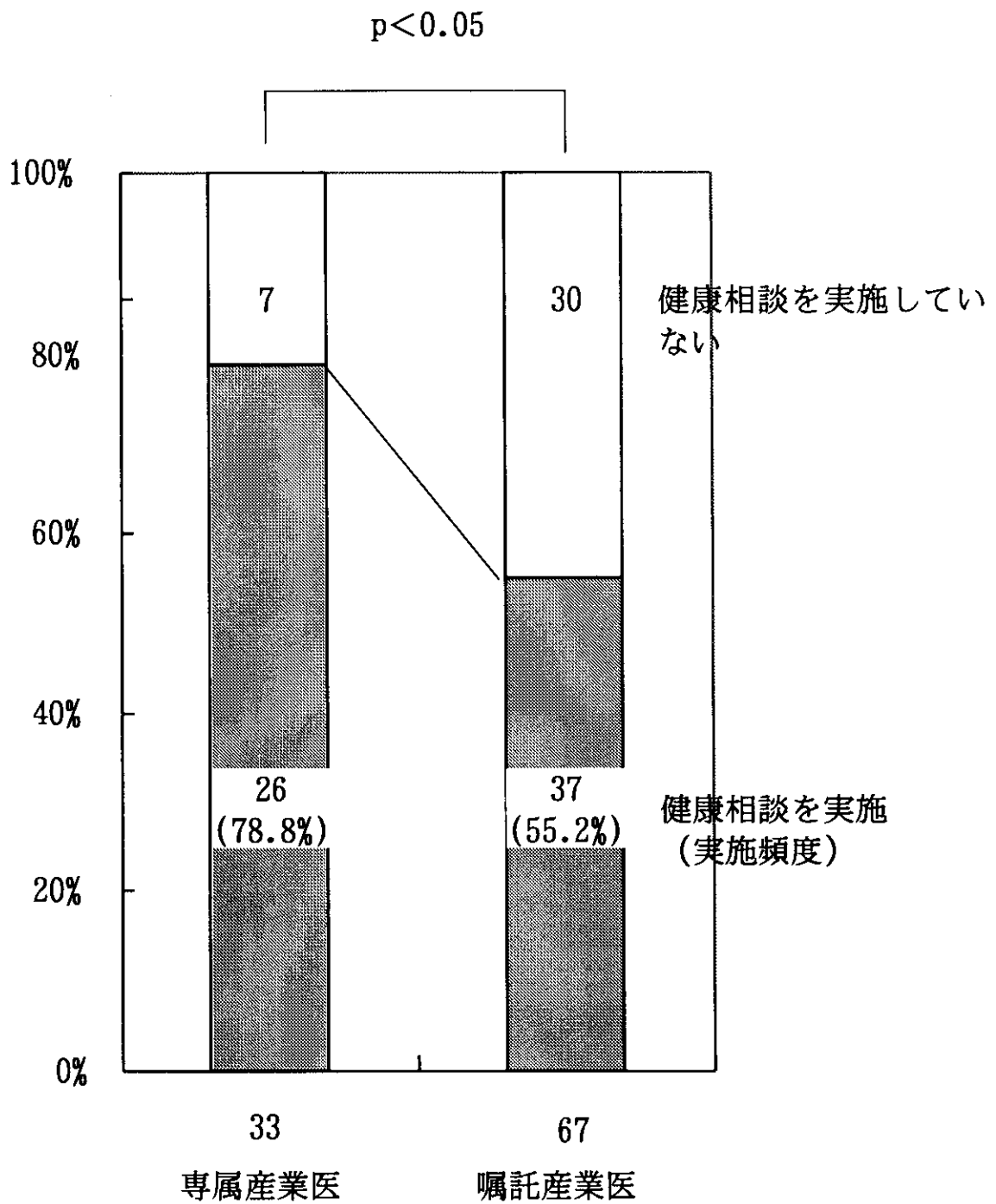


図21. 専属産業医、嘱託産業医別肝炎労働者に対する健康相談や健康指導の実施頻度  
(n=100)

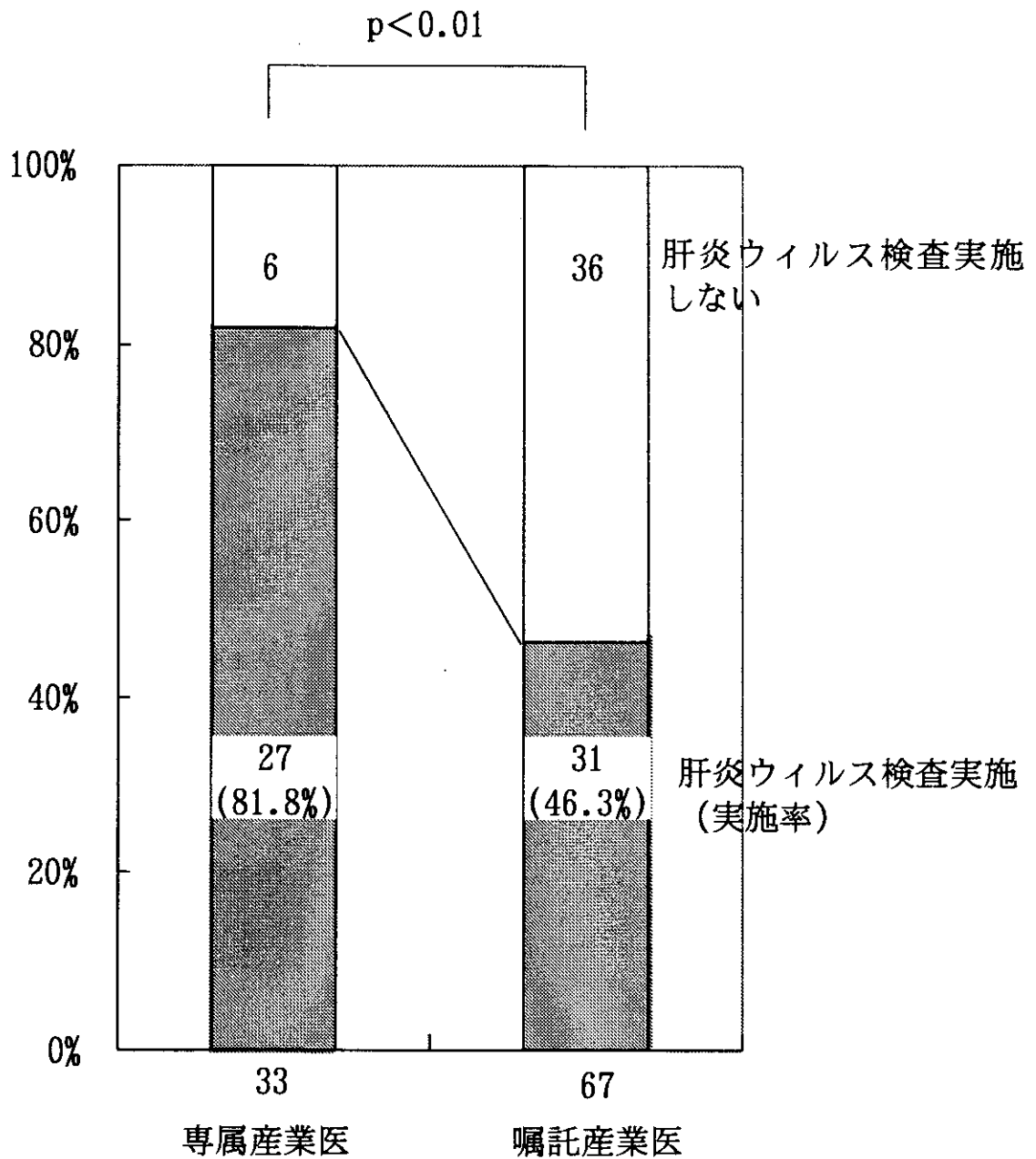


図22. 専属産業医、嘱託産業医別肝炎ウイルス検査の実施率 (n=100)



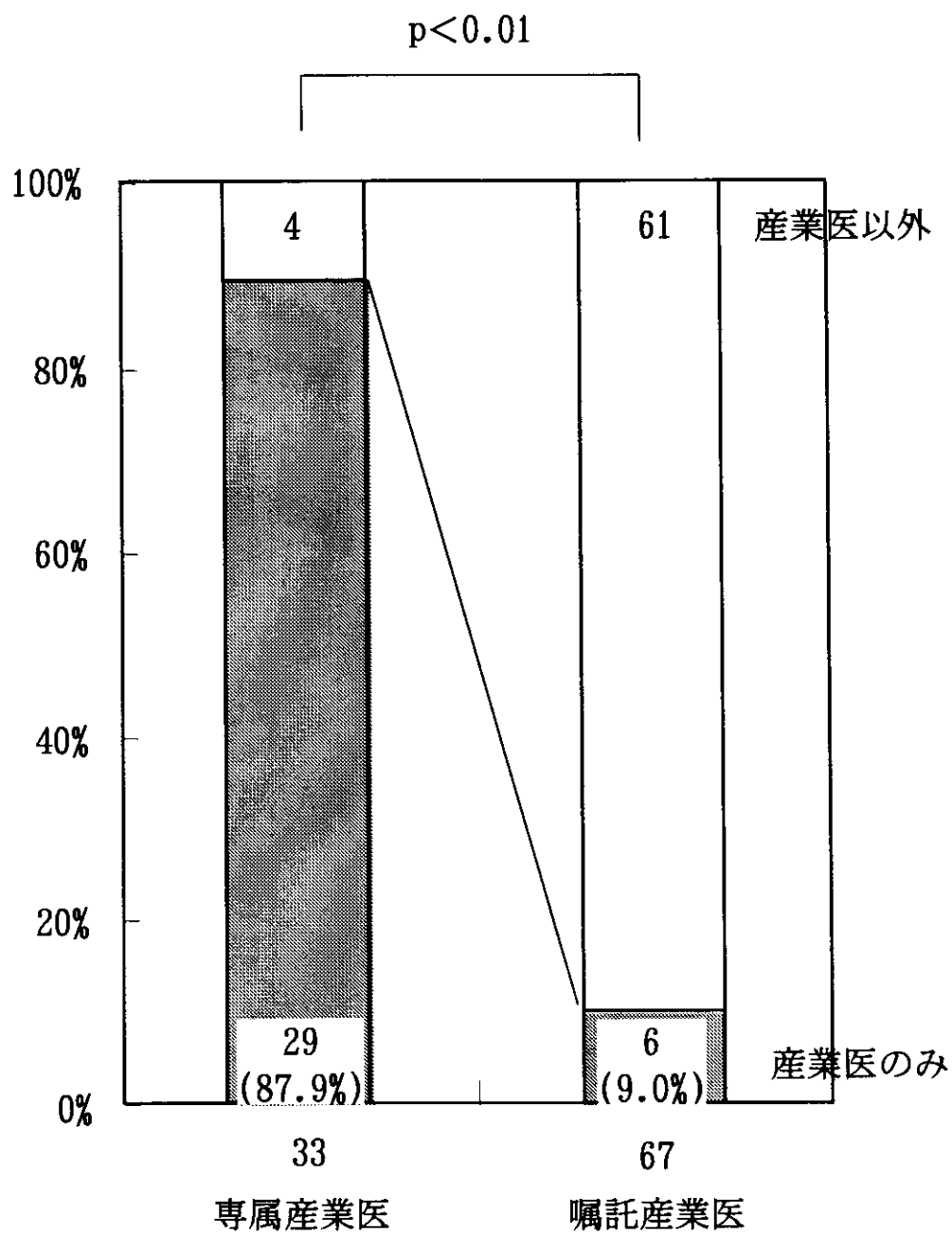


図23. 専属産業医、嘱託産業医別肝炎労働者の  
情報管理責任者 (n=100)

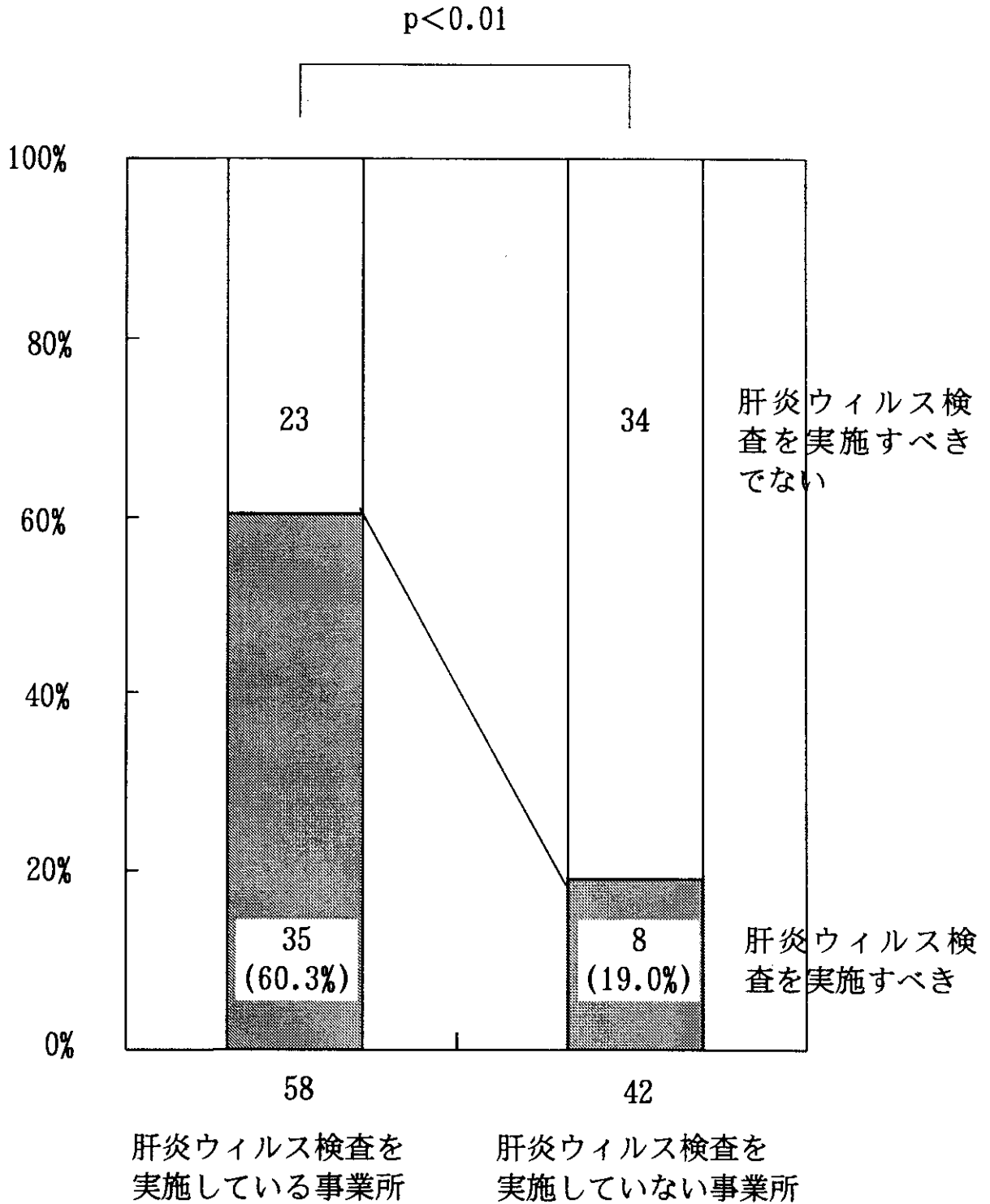


図24. 事業所における肝炎ウイルス検査の実施と産業医が「事業所で肝炎ウイルス検査を施行すべき」と考えているかどうかの相関関係 (n=100)

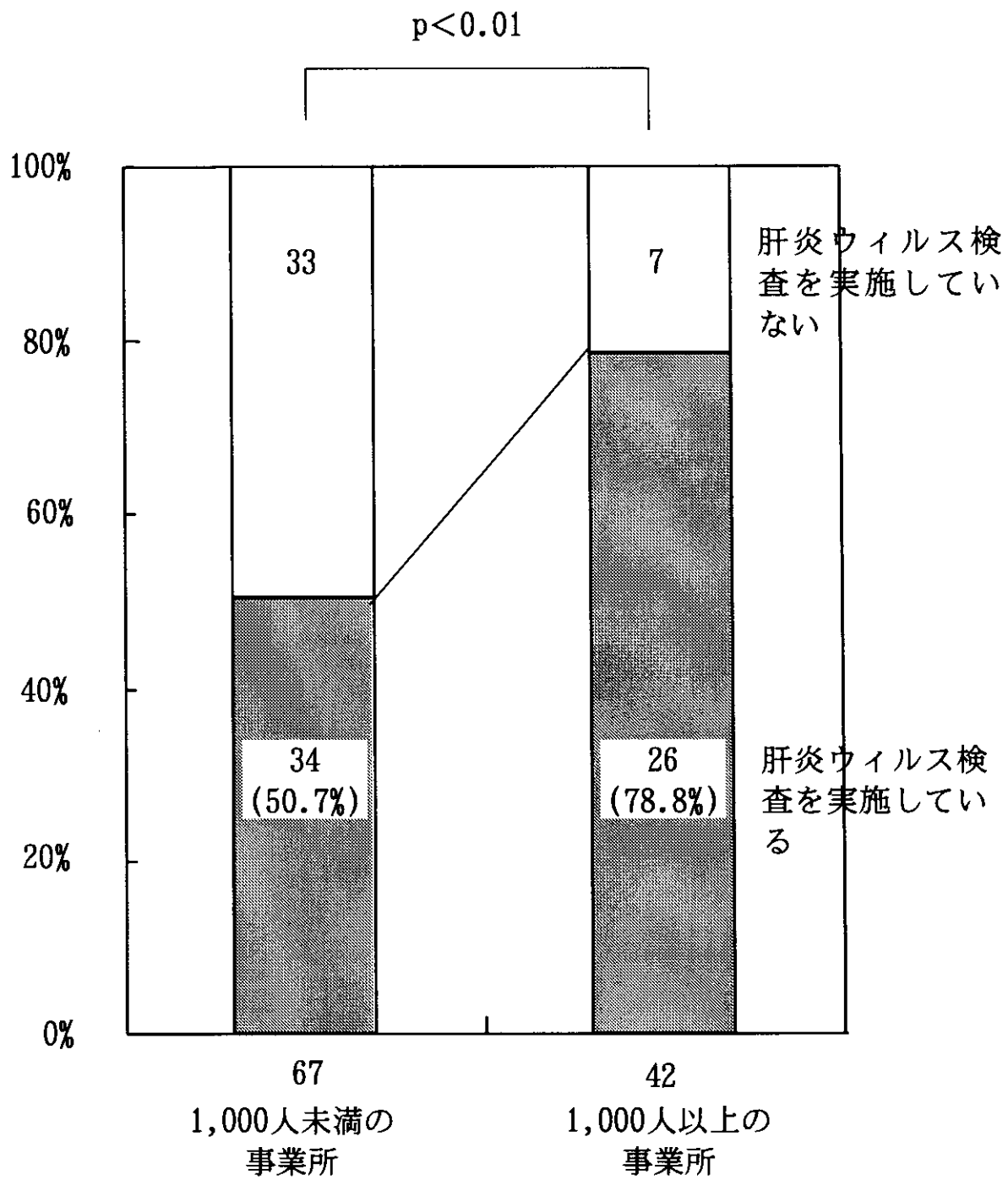


図25. 事業所の従業員数と肝炎ウイルス検査の実施率 (n=100)

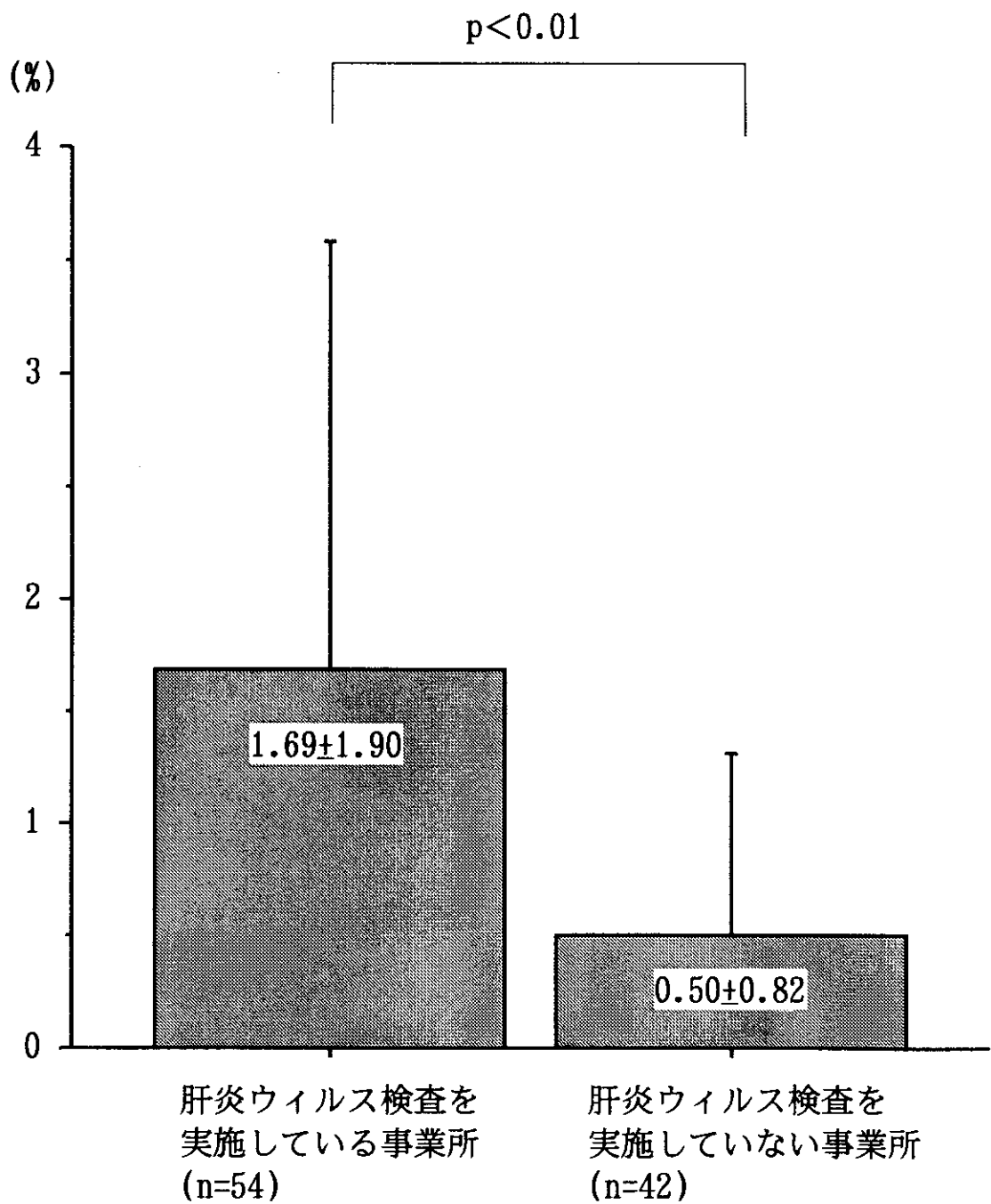


図26. 肝炎ウイルス検査の実施の有無による産業医に把握されている肝炎労働者の割合  
 (%：肝炎労働者数/一般健診受診者数)  
 (n=96)